広い空　未来につなぐ　えがおの南山幼稚園

港区立南山幼稚園　Minato City, Nanzan Kindergarten

教育目標
〇げんきな子
〇よくかんがえる子
〇なかよくする子

10月園だより

令和8年9月25日
September 25, 2026
園長　河合　晴美
Principal
Harumi Kawai

Amazingで Wonderful な運動会を

園長　河合　晴美

雨が続いた9月でしたが、久しぶりに晴れ間が見えた日の園庭では、子どもたちが思い思いに遊びを楽しみました。オシロイバナが咲いている中で、5歳児が色水をつくっている様子を今まで見ていた4歳児が、自分たちが植えたアサガオの花を使い、色水をつくっていました。3歳児が、マットやウエタン積み木を持ち出して場をつくっていく様子では、今までさくら組やばら組の子どもたちの姿を見ていて学んだことと言えます。同じ空間で遊ぶことで、遊びの伝承が見られています。また、気候の変動による影響と思えますが、例年より早く彼岸花やキンモクセイが咲き、自然が教えてくれる季節の移り変わりを子どもたちに知らせることができました。これらは、幼稚園として大切にしていることです。

さて、親子運動会を控え、各学年で子どもたちの興味や関心を取り入れたテーマに沿って内容や流れに組み立てています。伸び伸びと体を動かすことが大きな「ねらい」ですが、その過程で主体的、継続的に取り組んでいくために、内容に対して意欲がもてるように、それぞれ工夫することが必要となります。

3歳児りんご組は「きょうりゅう」を取り上げ、恐竜になって体を動かしていくことから、音楽に合わせていろいろな動きを取り入れられるようにしています。学級のみんなで楽しむことで進めています。

4歳児ばら組は「助ける」ということを設定し、トレーニングという言葉を使いながらそれぞれの幼児が力を出していくことを導きます。積み重ねの中で、それぞれの幼児が楽しみながら動きを獲得していく様子を見ているところです。

5歳児さくら組は、目的に向かってみんなで力を合わせることをねらい、リレーやバルーンに取り組んでいます。互いに気持ちや動きを合わせ、補い合う過程で、自分の力を精いっぱい出せるように支えています。

親子運動会では、親子で体を動かす心地よさを味わうとともに、共に生活する者が集う機会の中で「南山らしさ」でつくり上げた一日を楽しんでいただきたいと思います。そして、前月に掲げた「豊かな世界と出合い、多様な可能性をひらく南山の子」の実現を目指している姿をお伝え出来ればと思っています。


<3歳児　よーいドン!>


<4歳児　思いっきり走る>


<5歳児　リレーに取り組む>